

SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール
岩手県立水沢高等学校
第12号 2017年11月6日 発行

SSH 岩手県立大学研修

平成 29 年 10 月 14 日(土)

SSH大学研修の一つとして、岩手県立大学研修を実施しました。岩手県立大学には、看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部、総合政策学部の4学部があり、各学部から1つの講座を開講していただきました。学部ごとの参加生徒数は、看護学部5名、社会福祉学部5名、ソフトウェア情報学部9名、総合政策学部10名の合計29名、学年別では、1年生17名、2年生12名でした。

各講座の研修テーマおよび担当していただいた先生方、生徒の感想を紹介します。

【看護学部】

「元気に一生を過ごすために高校生からできること～生活習慣病の予防～」

看護学部 教授 内海香子 先生

★生徒の感想★

糖尿病については、インスリン注射など大体のことしか知らなかったが、今回の研修で糖尿病や生活習慣病について詳しく知ることができた。血糖値を測る機械を実際に使い、とても分かりやすく楽しかった。もし、糖尿病になってしまったら一生付き合い合っていかなければならないだけでなく、毎日自分で注射をしたり、食生活に気を付けたりしなければならないので、改めて大変だと思った。



【社会福祉学部】

「地域における住民の福祉課題と地域福祉」

社会福祉学部 講師 菅野道生 先生

★生徒の感想★

今日の研修では、地域福祉について知ることができた。今の社会では、少子化や高齢化など様々な課題があるが、課題だけでなく、その状況の中でも使えるもの、できることなどの資源を見つけ活用することが大切だと分かった。実際に外に出て地域を見てみると、意外なところに課題や資源があった。それらのことから、この地域をより豊かにするにはどうすればよいのかを考え、共有し、新しい見方や考え方を知ることができた。



【ソフトウェア情報学部】

「コンピュータ・シミュレーションを使った震災復興過程における経済支援政策効果の分析」

ソフトウェア情報学部 准教授 後藤裕介 先生

★生徒の感想★

今日の研修では、シミュレーションについての講義がおもしろかった。3つのグループに分かれて話し合い、それぞれ選択して、どれが一番になるのかシミュレーションをした。色々な意見が出て、おもしろかったし、勉強になった。予想通りになったり、まったく予想外の結果になることもあり、多くのことを学ぶことができた。今回の研修を通してソフトウェアについて興味を持つことができた。



【総合政策学部】

「農村に暮らす生きものの生態とその保全～ため池に生息する魚類を対象として～」

総合政策学部 准教授 辻 盛生 先生

総合政策学部 講師 鈴木正貴 先生

★生徒の感想★

植物プランクトンの影響を受けて、生態系が変化していることが分かりました。富栄養化に耐え切れず消えていった動植物たちは残念だと思うし、対策を考えていかなければならないのだと思いました。外来種が在来種を上回って、どんどんと繁殖していくことも問題であると思うが、水の富栄養化もどうにかしなければいけないという課題も見えてきました。

